

# つながる人になる

「助ける人になる」(2月号特集)で始まった2回に渡る災害対策特集の後編は、いざというときに支え合える「つながる人」を生み出す地域の取り組みを紹介しします。  
【地域づくり推進課】29008-9083 02908-9491



おはよう、こんにちは、いい天気ですね。そんな何気ないあいさつ、隣近所の人と交わっていますか？



「お隣さん、何人家族かわからない」「会うことがないから、どんな人が住んでいるのかわからない」。人と人とのつながりが薄くなることで危惧される問題のひとつに、震災などのいざというときの対応があげられます。

大きな被害をもたらした東日本大震災から5年が経つただからこそ、見つめ直し大切にしたい「人と人とのつながり」。



東日本大震災では、防災無線が聞こえない中、大声で津波の接近を呼びかけ近隣住民と協力し合っ

て避難したり、住民同士で支援物資をおすそ分けしたり、地域のつながりで震災を乗り越えたエピソードが数多く生まれました。

## 近所でつながる 黄色いカード作戦

住民同士をつなげる 黄色いカード



災害時の混乱の中では、正確な安否確認はとても難しくなります。しかし、避難ができず救助を待っている人がいるのかわかると迅速に確認しなければなりません。約1万3千世帯が暮らす新所沢地区では、地域が一丸となって災害に備える「黄色いカード作戦」が進められています。

### 黄色いカード作戦

「わが家は大丈夫！」と書かれた「黄色いカード」を地区内全世帯に配り、実際の災害時、救助が必要な場合は玄関に掲げます。カードがあることで、救助にあたる人は、一軒ずつドアをたたいたり、同じ家を何度も確認したりすることがなくなり、どの家が救助を必要としているのかを瞬時に把握できます。すばやく効率的に安否確認ができる「黄色いカード作戦」により、災害時の限られた時間で多くの人を救うことが期待されています。



災害時に公の助けが来る前に力になるのは、まず近所の助け。そのためには、隣近所と普段から声を掛け合える関係になっておくことが重要です。「黄色いカード」の配布は、役員が使い方を説明しながら各世帯を回るように工夫することで、隣近所と顔見知りになる良いきっかけにもなると考えています。新所沢まちづくり協議会は、今後も住民同士をつなげる取り組みを進めていきます。



## ひとりじゃない つながる地域の輪

家からは避難したけど、このあと一体どう行動すればいいの？



いっしょにできる かわからない災害。備蓄をしたり、家具を固定したり、家の中の災害対策(2月号参照)をすることがまず大切ですが、家から一歩出たあとの対策は万全ですか？家の外での災害は、地域全体の対策が不可欠です。

### まずは「0次避難場所」へ

吾妻地区の荒幡町内会は、災害時、まず隣近所で安否確認ができるように、隣組ごとに「防災リーダー」を決め、近場の空き地や駐車場を「0次避難場所」としています。0次避難場所は215カ所あり、日頃から目につくようにパネルを設置しています。「まず0次避難場所に来る」というルールを作ること、いざというときに、慌てずに0次避難場所へ



小学校などの避難場所に来る前に、ご近所同士で安否確認できる「0次避難場所」

集まることができます。事前に作成しておく「安否確認カード」を基に防災リーダーが安否確認をして、救助が必要な人をいち早く助けます。

### もしものために、今更なことに

昨年、荒幡町内会は指定避難場所の荒幡小学校で実際の災害を想定した防災訓練を行いました。120人が参加し、避難所運営を疑似体験するゲーム型訓練や、体育館を段ボールで区別する設置訓練、宿泊訓練などを行いました。ひとりでは決してできない、地域のつながりがあるからこそ訓練です。

ひとりでは限界がある災害対策。地域のつながり、もしものために今できることを行いましょう。

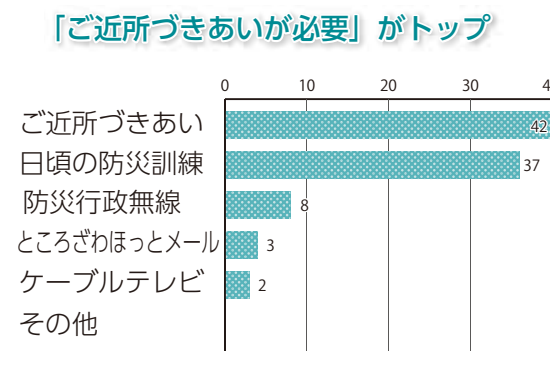
## つながり支え合う地域へ 参加のススメ

自治会・町内会は、一定の地域に住む人たちが、地域の課題や問題の解決に取り組みとともに人と人とのつながりや絆を実感できるまちづくりを進める自主的な団体です。防災活動にとどまらず、普段から自分たちが住むまちを自分たちの手でより良くしようと活動しています。



地域で大きな役割を果たす自治会・町内会に多くの人が加入・参加し、つながり支え合う地域づくりを進めよう！

### 声 防災・減災のために 必要な活動は？(荒幡町内会 訓練参加者アンケートより)



地域でつながる 笑顔がつながる 12年月が経っても地域の絆は変わらない北所沢町内会 3「みんなでお楽しみ！」神楽の郊外マンション自治会の夏祭り恒例カラオケ大会 4地域の子ども大集合！宮本町町内会の初春羽子つき大会 5絆を生む運動会も各地で開催！北秋津町内会

### 声 私を感じたつながり 山口地区町谷自治会

震災後、新しく自治会に入った町谷自治会の江澤さん、柳澤さんに、地域のつながりについて伺いました。

きっかけはつながり作り 江澤さん 震災後、所沢に引っ越してきて、親戚も知り合いもいなかったため、地域の人とつながりを作りたいと思っていました。その時に神藤年三自治会長に声を掛けてもらい、加入しました。

参加して感じたあたたかさ 江澤さん 加入後、地域の防災訓練に参加しました。町谷自治会は子どももつれて参加する人も多く、参加しやすいのがうれしです。他にも夏祭りや餅つき大会などいろいろなイベントがあって、うちの子ども喜んで参加しています。イベントに参加できなかったときも「次はおいでね」と言ってもらえるのがうれしいです。

地域の役に立てる実感 柳澤さん 昨年は部長を経験したのですが、地域の方々も私が子育てしていることをすごく考慮してくれて、少ない負担で行うことができました。子育てしながらでも、地域の役に立っているんだって実感しました。

自治会でつながる地域の輪 柳澤さん 自治会に入ってよかったことは、地域の方々に名前を覚えてもらえることです。イベントなどで覚えてもらえるんですよ。暮らしの中に安心感があって、地域のつながりを感じています。

## 地域がつながる 災害対策

地域の災害対策はいろいろ。その一部を紹介します。



消防署員を講師に招く普通救命講習会。幅広い世代約40人が参加



大人に教えてもらいながら楽しく炊き出し体験



互いの顔が見える班単位の安否確認に力を入れ、今年で訓練5年目

黄色いカードが安否確認をスピードアップ 黄色いカード！ここは大丈夫！よし、次へ！ 大丈夫ですか？ けが人はいませんか？ 黄色いカードがあると... いちいちチャイムを鳴らさなくても外から一目で無事とわかります 目印がないと... 応答があるまで無事かどうかかわかりません